

刊夕日三十月六

# 常磐每日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
 廣告料 五號十二字 一行 一日 五元  
 日曜 祭日 休刊  
 發行所 常磐每日新聞社  
 印刷所 常磐每日新聞印刷株式会社

## 人生行路難の打解と孝道の作興

麻生正蔵

現代人は今や人生の三大主要方面である所の政治、經濟及び精神の行路に行き詰り、途方に暮れ、躊躇、逡巡、低徊焦慮、疲弊困憊の極、神經過敏となつて、常軌を脱し、正道を逸するものが此處彼處に頻發する形勢である。而して此等の行き詰つた現在の行路の難關を打開するに最も適切有效なる對策無きに苦しみ惑うて居るのみならず、人生の前途に對しても亦大に迷うて居るのである。

かゝる現代人の行き詰りの行路難を打開し、その病苦を救済するには單なる應急手當や、臨床療法のみならず、に合せの姑息な治療では到底其の目的を達成する事は不可能であらう。唯その眞の病原を發見し、根本治療を施して、初めて其救済の目的が成就せらるるのである。經濟の不況、實業の墮落の原因は何であるか、政治腐敗の眞因は何處に存するか、世道の頹廢、人心の放縱、思想の惡化の根源は如何と言ふ問題は是非共解決せねばならぬ目下の重大問題である。此等の人生の三大主

要方面に關する三大重要問題が解決された曉に於て初めて現代病弊の根本治療法が發見せらるるのである。然るに現代病弊の眞因も亦決して單純なものではない。想ふに種々雑多な諸原因の複合産物として、現代病弊が發生して居るのであらう。併し上述の三大重要問題に共通な中心原因とも言ふ可きものはないであらうか。人間の生活が複雑化するに従つて人間の欲望も亦多々益々熾烈となり、又複雑となるのである。而して其處に人間生活の危機が胚胎し、伏藏するのである。熟々惟ふに、近代に至りて、地理上の發見に伴うて、交通の便が盛に開け、自然の富源が大に開拓せらるゝと同時に、他方には科學の發見、機械の發明の影響として、産業界の革新が勃發し、家庭産業は轉じて工場産業となり、手工産業は變じて機械産業となり、小資本は合して大資本となり、小量生産は膨脹して大量生産となり、自然の富は盛に人工の富と化せられ、その結果として、人間の熾烈なる物質慾は彌が上にも煽り立てられ、人間は遂に猛烈に享樂を追求する動物とはなり果てたのである。

斯の如く、自然の富源の發見と科學の發達と機械の進歩激増の影響として、人間の物質慾が盛に煽動され、享樂生活に狂奔し、没頭し陶酔する現代人が生れると同時に、一方には、政治上精神上並に社會上に、獨立自由、平等、正義、權利の主張が高唱力説され、その實現が強要せらるゝに至つたのはよいが、否、それは寧ろよいと言ふよりも、當然であり、特にそれが正しく實現されるならば、誠に望ましい理想的な事柄であり、賀すべきであるが、併し實は誤解や濫用によつて獨立は排他的な自己本位となり、自由は我儘放縱となり、平等は不遜侮蔑、横着無秩序となり、正義は我を主張し、他を罪する鬭争の責め道具となり、權利は利己害他の劍となり、而して他人を賊し、社會を毒し、國家を害すること(極めて甚大なものがある)。

旭硝子株式會社製品  
 赤菱印  
 板ガラス  
 硝子壺  
 硝子食器  
 其他各種  
 松崎硝子製作所  
 平町新川町(電話一四二番)  
 仙臺市榮町(電話五九七番)

關内藥局  
 電話四〇番  
 寫真材料一式販賣致シマス  
 秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

吸入用酸素純度99%  
 モノサシ  
 マス  
 ハカリ  
 体温器  
 寒暖計

注意(一) 不平不満の多い、勞して功なき日なれば現狀維持よし(二) 病氣病難難怪我紛失注意(三) 病氣病難難怪我紛失注意(四) 火災に驚く事あり然し我希望と目下の婦女子に喜悅あり(五) 目上と意見衝突起り易し(六) 迷信の爲物事難らざるの病氣怪我紛失盜難注意(七) 赤金問題で目上と争ひを起しやすし(八) 金なるも婦女子に付て口舌を起す勿れ(九) 金問題で奔走するも怪我紛失に注意(一株)上廻り「米」下廻り

御用命印刷物の總て  
 常磐每日新聞印刷株式會社  
 電話三六〇番

御用命は!!!  
 獅子吼(四四九)ノ勢デ  
 眞先ニ……(マツサキ)  
 三九二タクシーへ!!!

玉屋洋品店  
 平町田町通電話六五六番



井坂醫院  
 平町田町 電話五五九番  
 門專  
 婦産科  
 花柳病科  
 入院隨意

外科  
 門專  
 科線光X  
 上田外科病院  
 平町南町  
 電話一二九番

# 一二毛作の菜種が大當り

## 値段も高いので生産者は大喜び

石城郡農會では最近水田二毛作として菜種の栽培を奨励した結果現在では郡下の百町歩より三千餘俵の收穫を擧げて居り本年は天候が順調であつた爲め豊作を豫想され七月下旬頃より出廻るものと見られて居るが取引相場は昨年の一畝五圓四十錢に對し本年は八圓五十錢と云ふ高値を示し生産者は大喜びである

### 水産技師來郡 農林省水産局技師中村辨治郎氏は昨十二日來郡、四倉、豊間中ノ作、小濱の各區救港灣工事の視察を行つた

### 平窪苗代品評 石城郡平窪村農會では昨十二日苗代品評會を開いたが審査長は郡農會の青山技師であつた

## 小麥の統制に販賣機關擴充

### 本郡及び双葉が聯合十八日に協議會

石城産業組合部會では来る十八日午前十時より團體事務所樓上に郡下及び双葉の町村農業技術員指導員等八十餘名を招集して小麥の販賣統制に關する協議會を開き販賣機關の擴充を計る事となつた當日は縣の三浦購買販賣聯合會長が出席すると

## 機械體操

既報磐城中等學校及び平商業學校にては本日午前十一時より機械體操のオリムピック選手本間茂雄氏を招き磐城中等學校庭に於て鐵棒、跳箱、バック、横木のコーチ

## 平商に...

### 自轉車置場

平商業學校では最近自轉車

を受けたが兩校生徒を初め各郡下小學校職員百五十餘名出場、午前中は講話、午後一時よりは實演及び實際指導を受けた

## 磐中の保護者會

磐城中等學校保護者會にては来る十五日午前十時より同校會議室に於て評議員會を開き今年度の豫算編成及び評議員二十九名の改選を行

## 湯本の町議決定

### 昨日投票の結果

石城郡湯本町の町會議員選舉は昨十二日執行、投票總數二千二百八十二、無効五九、棄權百十六で開票の結果當選者左の如くである	一九二	松繁 庄一	一一九	大和田主馬造
一六六	比佐 源造	一一七	矢吹 莊司	
一五八	若松 修一	一一五	上川 才松	
一五三	須藤 熊雄	一一二	高木 昇	
一四六	生田 嘉清	九〇	木村徳三郎	
一四三	比佐 賢司	八八	鯨岡 誠祐	
一四三	鈴木 稻實	八六	鯨岡 賢司	
一四〇	鯨岡 愿造	八一	渡邊 長作	
		六七	小井戸大次	
		六七	若松 孝平	
		次	熊上 作馬	
		三八	熊上 作馬	
		一一	黒羽 彌介	

## 非常時日本の姿

### 時局畫報を生徒に

本校内に時局畫報欄を設け掲示教育を行ひ児童に對し非常時日本の姿を認識せしむると

## 平町人事

### 回出生

△柳町九 當時石城郡内郷村字竹ノ内三九 土岐文夫氏長男武夫

### 回死亡

△南町三二 佐々木長五郎 (二三)  
△研町十二 當時横濱市神奈川區千若町一ノ二 稻葉クマ(七〇)

## 選舉戰... 初陣物語(六)

川崎 文治

◆確かに惡戰苦闘であつた事は、自分自身の自家吹聴だけでなく、他も是れを大いに認めてくれた、さればこそ落選組にも數へられる事になつたのであらうが初陣早々であるに、今思ひは却つて自分の爲めの試験として、大きな體驗を味ひ得た譯である。

◆今迄も、町議戰で千兩箱は覺悟せねばならぬの、或る候補者は三千圓の運動費を使つたのと、種々雑多な噂を耳にした、しかし僕は、ただそれが世間の揣摩憶測に過ぎず、どこからどう割り出したつて、そんな大金がかかる筈のものでないと信じて居た。

◆だが世の中に何が弱いつて候補者位へ弱い立場に置かれて在るものはなからう、僕自身にしても、苦戰の眞ッ唯中にもがいて居た時には、是れが金で解決のつく事なら、二千兩が三千兩でも投げ出して終ふ...と思つた、しかし幸か不幸か金には縁の薄い僕である如何に苦しくつても結局無い袖は振れず、何處迄も苦難を耐え忍んで行かねばならなかつた、爲めに最後の投票日迄、當落の分岐点に漂泊しつゝ膽をヒヤ／＼させて居たのである。

◆只此苦しみの中に在つて僕は經營紙の「常磐毎日新聞」を選舉道具に使はなかつた事が、今になつても自分獨り満足に感じて居る處である。

◆僕は本紙を小なりと雖も社會の公器であると信じて居る、故に經營の衝に當る僕が僕一個人の爲めに本紙を占有すべきでない。選舉の際には報導機關が可成り大きな役割りを務める、立候補した僕としては、本紙を選舉の武器に使用する事が非常な強味である事は言を待たない、而し個人の意志で公器を亂用する事は非常な罪惡であると思ふ、

此の見解から僕の推薦廣告を掲げた以外には、町政に對する抱負とか其他の意見は勿論、僕の選舉戰に關する報導記事は一切掲載しなかつた。

◆立候補と同時に、同業のS君とO君が本社員を指揮し、本紙の編輯一切を引請けて手傳つてくれたのであるが、兩君にも僕に關する宣傳記事は一行も書かないで戴き度いと頼んだ「其の意気込みで戰つて負けるなら、寧ろ男子の本懐だらう」と兩君も僕の意を諒としてくれたのだつた。

## 小兒科。内科

特ニ乳幼兒ノ康健相談ニ應ズ。  
平町 ねずみ坂  
隨意 渡邊醫院  
電話一六一番

## 木炭代用この上のない經濟の 徳用な豆炭

壹袋正五貫目入金 八十錢也  
御注文次第御届ケ申シマス

三丁目(電話六六三番) 磐崎屋酒店  
一丁目(電話五九六番) 菅本武雄商店  
白銀町(電話二九九番) 水野氷店  
六丁目 矢吹石炭商店  
平驛前(電話三七番) 阿部石炭商店

◎特約店募集致シマス

### 嚴肅な公判廷に

## 時ならぬ色模様

### 築港所長が買ひ與へた

### 藝妓の着物が證據品に

### 「けふ」築港疑獄の公判

昨報一小名濱町字定西二百三十六番地元築港所長内務省技師榎木篤夫(四)を始め同町字横町三十七番地醫師久保田真(五)同町字定西五十九番地砂利販賣業高木武士(三)江名町字南町十四番地土木請負業鈴木省三(四)湯本町字辰ノ口四十三番地自動車業長岡義守(九)平町十五丁目二十二番地木材商兼土木請負業馬目雄次郎(五)の五名に對する小名濱築港疑獄事件の

人は場外に迄溢れ取調へ中證據品として榎木が買ひ與へた藝妓の着物が持ち出されて色っぽい情景を嚴肅な公判廷に描き出すなどあつて正午一先づ休憩、午後より再び訊問を續行した

警中野外演習 警城中學校五年生は来る二十二日同四年生は二十八日各々井川、庄司教官指導の下に好間村上野原方面に於て野外演習を行ふと

### 選舉違反で

## 平署大活動

### 鐵道方面から

### 十餘名を引致

平署では過般の町會議員選舉に違反行為ある的確な證據を握つたらしく昨夜より大活動を開始し今朝迄に鐵道方面より關係者十餘

名を引致し平區裁判所三堀檢事出張嚴重な取調を開始したが相當廣範圍に亘る模様である

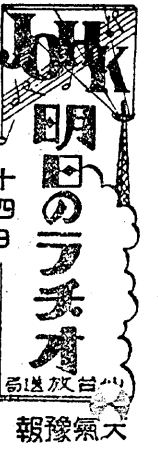
### 兵營に宿泊して

## 團體的精神涵養

### 平商生けふ仙臺へ

平商業學校第四學年生六十六名は今朝平發八時十九分にて仙臺工兵第二大隊に於て三日間兵營に宿泊し軍隊見學に依る團體的精神を涵養する爲め駒場教官、武川

泉田兩教諭に引卒され出發したが三日間の豫定は左の如くである  
(十三日)師團、青葉城及び兵營内の見學(十四日)現役兵の教練見學及び追



今夜も明日も北東の風暴模様

### 今晚の部

後六、〇〇 子供の時間  
お話し「書聖竹田」黒川健士  
後六、二五 未定  
後七、三〇 講演  
後八、二〇 映畫物語 伴奏指揮 中村聲波 島田

### 晴譽

後八、四〇 義大夫「天網島時雨炬達」(茶屋場の段) 浮るり 豊竹駒太夫 三味線 竹澤團六  
後九、三〇 時報 ニース氣象通報 番組豫告

### 明日の部

廻練兵場に於て各個教練の練習(十五日)實彈射撃の練習(十六日)歸平  
七月十二日川前  
掛時計を寄贈 平町字長橋町十二番地大嶺秀吉氏は本日長女及び次女の二人が第二小學校に轉校入學したので之が記念として掛時計二個を寄贈された

### 郡内巡回

平署駐在自動車診療班は近く第四回診療を左記日割にて行ふと  
六月廿二日鹿島 廿三日

### 本年も九品寺に

## 農繁期の託兒所

平町九品寺住職遠藤心光氏は町當局及び方面委員の後援で昨年の如く十二日より同寺内に農繁期の托兒所を開設したが期間は十日間である

### 平第一校視察

川縣小田原第三小學校職員七名は来る十六日第一小學校視察の爲め來平する

### 夏期修養打合

郡上遠野村青年團では来る十八日役員會を開き團員の夏期修養に就いての打合せ

### 虫干しの着物を

## 留守の間に盗る

石城郡湯本町字八仙居住會社員小西雅一の妻トシ(九)さんは去る十一日午前九時頃自宅裏空地に着物の虫干をした儘買物に出掛た留守に男物大島外六点和トランクを窃取され歸宅後驚いて其筋へ届出た

失傷害罪として罰金三十圓  
△石城郡川部村大字三澤字鍋坂八坑夫阿部喜内(三七)は去る四月一日同村長須孝吉方に於て朝鮮人金世夫を火

署で殿打し全治約一週間を要する傷害を與へ科料十五圓に本日各平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

屋五十二 長谷耕作  
後六、二五 ことばの講座  
「讀本朗讀」(三) 解説 神保格 尋常小學國語讀本 卷九「麥打」弟から兄へ  
井筒愛子 同巻十一「北海道」ふか  
後七、三〇 講演「國民精神の源泉」廣島文理科大學々長吉田賢龍  
後八、〇〇 喜歌劇大阪大手前國民會館より中繼「ジャンヌの扇」寶塚少女歌劇花組生徒  
後八、四〇 ラヂオドラマ

### 平職業紹介所報告

回人を求める方  
△女中 三十以下 尋卒 給料面談(平町某食堂)  
△雜夫 四十五迄 尋卒 月十圓迄(江名町某)  
△農夫 三十才 委細面談(平町某)  
△雜夫 二十三迄 月十圓

### 裁判所だより

△石城郡内郷村大字綴字秋山一五自動車運轉手西牧安長(七)は同村永久保松吉に自動車衝突全治五週間を要する傷害を與へ業務上過

### 回職を求める方

△鍛冶工 三十七才 尋四 給料面談(内郷村某)  
△給仕 十六才 高卒 給料面談(平町某)  
△文撰工 二十一才 高卒 給料面談(平町某)  
△看護婦見習 二十一才 高女卒 給料面談(平町某)  
△鐵工見習 十六才 高卒 給料面談(平窪村某)

## 市原醫院

平町 田町 電話 一四番



# 慕東剣術

【禁轉載上演及映畫】

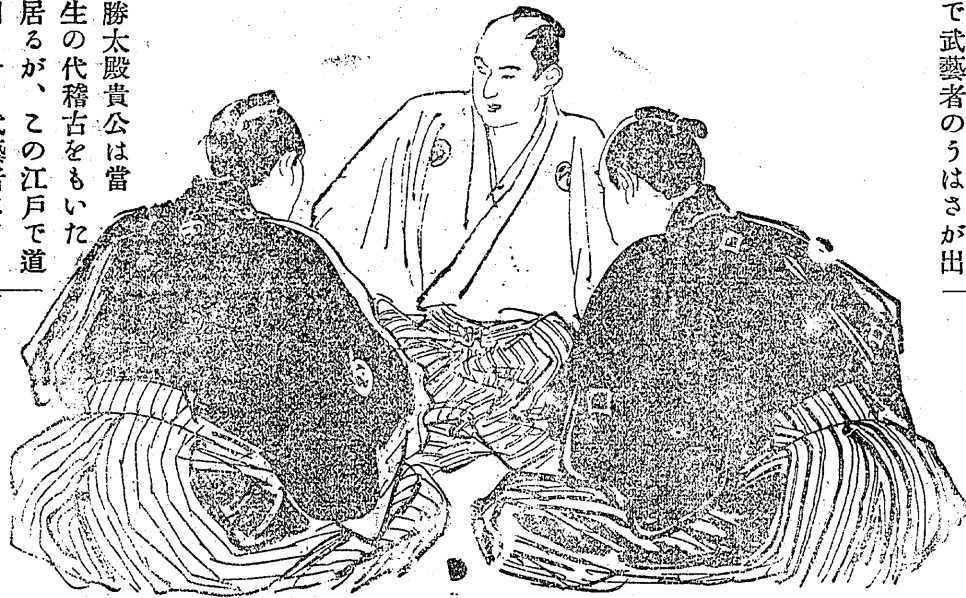
悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第三百六十三席

物外と近藤勇

近藤勇は武田物外に從ひて種々武藝のことについて質問いたし、大いに利益を得た、物外は再會を約して旅宿に戻りましたが、それより國許に歸る途中急病にて七十三才を一期に慶應三年に遷いたした。これについては申し上げることも澤山ありますが、今回は略して置きます。ところで近藤勇であります、これは武崎南多摩郡上石原字大澤にて天保五年十月九日、この聲を上げました、實家は宮川と申し、當主久次郎の三男、これが十七歳の時に南多摩郡加住村近藤周助の養子になつた、その當時は名を勝太と申した、周助は天然理心流の劍術に達して居る、その頃屈指の劍法者江戸に出て來て牛込二十騎町に道場を開いて千人以上の門人を有して居り、大層繁致して居りました、それですから勇の勝太は自然と劍術を學ぶことにもなつた、氣性が勇猛で、その上膽力がある、腕は一日と進歩する、すると幼年の頃から友達で土方歳三これも武州南多摩郡の出身、歳

三が宮川の道場に來て劍術を學んで居つた、其外に佐藤彦五郎、沖田總次などと申すのも宮川について刀法を學んで居た、と或る一日道場で武藝者のうはさが出た



沖「勝太殿貴公は當時先生の代稽古をもちいたして居るが、この江戸で道場を開き居る武藝者にてまづ名人との稱号を奉るは誰であらう」

と沖田總次が問ふた  
總「さうだな、まづ拙者の見るところではお玉ヶ池の

千葉周作先生であらう、故人以外の田地を開拓したは立派な人物だな、故人の粕をなめて居るようではその術に達し居るともその創始者たる故人を凌ぐ事は出来まい、それゆゑ千葉先生には名人といふ稱号を冠するもよろしからう、北辰一刀流と云ふ劍法を編出したものだ」

勝「これはお父上」  
周「貴様は今何を申して居つた」  
勝「へいお父上のうはさを致して居りました」  
周「フーム、チラリト其うはさを聞いた、まづ親父も名人であらうと云つたな」  
勝「聞えましたかさてく重寶な耳だ」  
周「控へろ、まづ名人とは何んだ、名人の溜りに片足踏込んだ位のものとは何んだ」

勝「これは失禮、時にお父上、あなたの目から御らんなされて此江戸にある武藝者では誰が名人でございませう、わたくしの考へでは千葉先生などが名人であらうと思ひます」  
周「千葉もあらうが」  
勝「名人であらうがとは妙だな、其ほかは誰でございとたづねた。」

理心流と名付けし劍道を工夫したお方故、名人であらう」  
勝「さうだな、親父は可なり出来る、名人だらう」

周「不埒なことを申す奴だしかし貴様の云ふ通り俺は名人とは云はれまい、劍道については人後におちぬ自信はあれど、達人名人と云ふ側ではない」  
勝「イヤ恐れ入りましたさう仰せられる以上はあなたも名人です、自分の藝がわかるやうになればもう一人前の武藝者、今がおけいこざかり、精出してお學びなさい」  
周「だまれ」

## 入應需院 藤沼醫院

平町紺屋 電話七〇五番

内小兒科  
科科病柳花

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める

川崎巡回文庫

込次第(規則書進呈) 電六三〇番

## 外科

X光線科  
性病科  
外科科

入院隨意

安齊外科醫院

平町田町 電話四七五番

男女安全豫防藥

新發賣 志のぶ錠

しのだ錠は花柳病の豫防藥たるのみならず〇〇〇〇の外コンケ、子宮、内膜炎、膿加答兒並に婦人〇部の癢痒等の治療の目的に用ひられる事でも〇〇〇の豫防と治療の二重奏をなします

專賣所

阿康藥舖

平古鍛冶町(電話四四番)

妊娠を望む方は使用すべからず

## 吉田眼科病院

平紺屋町 電話六八番

## 夏の學生服

野も山も新緑です……  
輕快な霜降洋服が澤山揃ひました  
どうぞ御用意下さい。

小學生用……¥.40.00  
同(特製品)……¥1.20.00  
中學生用……¥2.05.00

ふかや洋服店 平電 三203